

胃カメラはもう苦しくない!

鼻から入れる内視鏡検査

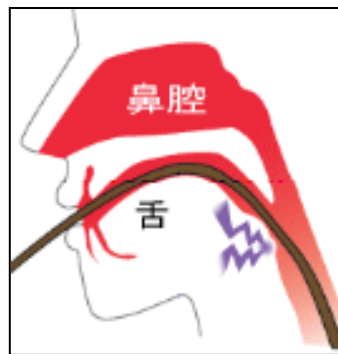
「胃カメラ」と聞くと、苦しい検査というイメージがありませんか？

米の山病院では、楽で安全な鼻から入れる内視鏡検査(経鼻内視鏡)を開始しました。

苦痛の少ない検査を実現

一般的な口からの内視鏡検査では、検査の最中に「オエッ」という吐き気を催すことがあります。

これは舌の付け根の舌根という部分に内視鏡が触れて嘔吐反射が起こることが原因です。異物などを吐き出そうという防御反応であり、これ



従来の内視鏡検査



鼻からの内視鏡検査



まではひたすら耐えるしかありませんでした。

これにたいして鼻から行う内視鏡検査では、舌根に触れないため、吐き気はほとんど感じません。

スコープは 5.9mm と口からの内視鏡の半分の細さ。

鼻腔内には麻酔剤を塗布するため鼻の痛みもほとんどなく、検査が終わってしばらく休んでおく必要もありません。

大きさは従来の半分

医師と患者のコミュニケーションで、医療の質が向上

いうまでもなく、口から内視鏡を挿入すると、口がふさがれてしまうためしゃべることができません。鼻から挿入する経鼻内視鏡検査の大きなメリッ



トの一つにしゃべれることがあげられます。

検査中は医師と会話ができるため、モニターに映る自分の胃を見て質問をしたり、気分が悪くなると伝えることができます。お互いに余裕をもって検査できるため、安全で正確な検査につながります。

辛い、苦しい経験のある方、そのようなイメージから検査を敬遠されている方など、気軽に鼻からの内視鏡検査を受けてみませんか？

ただし、日頃から鼻出血が多い、鼻閉感が強い、鼻の手術を受けている方は検査に不向きかもしれませんので事前にご相談下さい。

お問い合わせ 米の山病院 消化器科 0944-51-3311